

水島恵一先生の経歴・ご著書

主な経歴

1928年8月東京生まれ。東京大学法学部卒業。同大学文学部心理学科大学院修了。文学博士。横浜少年鑑別所技官（1951～1955年）。東京都児童相談所技師（1955～1963年）。立正女子短期大学・大学助教授（1966年）、立正女子大学教授（1967～1976年）同大学家政学部長（1972～1976年）。文教大学人間科学部教授、同大学人間科学部長（1976～1992年）、大学院人間科学研究科長（1993～1996年）、文教大学学長（1996～2001年）、文教大学名誉教授。

研究業績

〈単著書籍・論文のみ〉

1. 「非行少年の設置（治療）方法」『刑政』67-11（1952）
2. 「或る少女の自由連想」『児童心理と精神衛生』4-1（1953）
3. 「追従的不良行為の一分析」『児童心理と精神衛生』4-3（1954）
4. 「学校における問題行動とそのなりゆき—非行少年の予後調査」『カリキュラム』72（1954）
5. 「失敗時における皮膚電気伝導度と呼吸」『心理学研究』25-3（1954）
6. 「歪められた女性」小口・松村編『女の心理』（福村書店、1955）
7. 「社会病」（白亜書房、1956）
8. 「非行少年の社会的予後に関する研究（1）～（3）」『教育心理学研究』2-4.3-2.4-2（1955～1957）
9. 「最近の非行理論の批判」『心理学研究』28-2（1957）
10. 「青少年不良化の原因とその治療」『青少年問題』4-2（1957）
11. 「非行のいろいろな型とその処置法」（連載1～4）『青少年問題』4-6～9（1957）
12. 「児童社会病理と児童福祉」『閉童精神衛生講座』（明治図書、1958）
13. 「社会治療の新しい課題」『社会福祉研究』19（1958）
14. 「わかくさ学園建設記」『社会事業』41-5（1958）
15. 「立ち上がった母親たち（精薄児の親の社会活動）」（連載1～11）『社会事業』41-6～42・4（1958～1959）
16. 「非行および非行少年のタイプに応じた効果的処遇の研究」『刑政』70（1959）
17. 「非行少年を更生させる技術の検討」（シンポジウム）『ケース研究』54（家庭事件研究会、1959）
18. 『非行臨床心理学』（新書館、1962）
19. 「非行少年の治療教育の諸問題」『犯罪学年報2：少年非行の予防』（有斐閣、1962）
20. 「児童相談の手引き」東京都児童相談所資料（1962）
21. 「家庭と非行形成」『教育心理学研究』10-1（1962）
22. 「非行者に対する心理療法の効果」『心理学研究』32-6（1962）
23. 「親の立場と子の気持」『青少年問題』9-6（1962）
24. 「非行の臨床的理解の基準」『犯罪心理学研究』1-1（1963）
25. 「非行児にみられる積極性、消極性」『児童心理』17-5（1963）
26. 「アメリカの監獄」『刑政』74（1963）
27. 『青年の悩みと反抗』（雪華社、1963）
28. 『非行少年の解明』（新書館、1964）
29. 「臨床的非行性理論によるケース研究」『犯罪心理学研究』2-4（1964）
30. 「入院心理療法過程に関する研究」『臨床心理学の進歩』（誠信書房、1964）
31. 「問題児を持つ親への教師の指導」『児童心理』18-5（1964）
32. 「臨床心理学的措置」小口、村松編『臨床心理学』（朝倉書店、1964）
33. 『青年の苦悩と共に』（新書館、1965）
34. 「都市の社会病理—近代都市と非行」『年報社会心理学』6（1965）
35. 「成長体験の研究」『心理学研究』38-6（1965）
36. 「非行児の価値観」『児童心理』19-2（1965）
37. 「講座・親と子の精神衛生」（連載1～12）『親と子』（東京民生文化協会、1965）

38. 「少年非行の矯正医学的研究」『矯正医学シンポジウム』14 (1965)
39. 「非行少年の心理療法 (1)、(2)」『児童心理』20-5、20-6 (1966～1967)
40. 「治療過程と治療者の問題」〔臨床心理学講座3〕(誠信書房、1967)
41. 「イメージ面接による治療過程」『臨床心理学研究』6-3、7-2 (1967、1968)
42. 「人格理論の問題点とその臨床的意味」『心理学評論』10-2 (1967)
43. 「ボスと非行集団」『学級経営』19 (1967)
44. 「人格理論の総合的理解と臨床」〔臨床心理学講座1〕(誠信書房、1968)
45. 「集団治療過程の基礎的研究」『精神医学』10-7 (1968)
46. 『社会的発達の病理』〔児童心理学講座7〕(金子書房、1969)
47. 『カウンセリング入門』(大日本図書、1969)
48. 『精神衛生と人間実存』(誠信書房、1969)
49. 「非行性の診断」『教育心理』17-11 (1969)
50. 「心理療法におけるロジャース派の位置づけ」『教育と医学』18-1 (1969)
51. 「臨床心理学と学会のありかたについて」『臨床心理学研究』9-2 (1970)
52. 『増補非行臨床心理学』(新書館、1971)
53. 「カウンセリングのあり方」『ニューエコノミスト』244 (1971)
54. “Art therapies in Japan”, *Interpersonal Development*, (1971)
55. “Les phenomenes de imagery mentale et son utilisation clinique”, *psychotherapies*, 2 (SITIM, 1971)
56. 「非行」〔青年期の臨床心理: 児童臨床心理学講座6〕(岩崎学術出版社、1972)
57. 「芸術療法における東洋芸道の位置づけ」『芸術療法』4 (1972)
58. “A psychosocial theory of delinquency”, *Int. J. Soc. Psychiat.* 18-4 (1972)
59. “T-groups and related activities for the recovery of humanity” 国際心理学会シンポジウム (1972)
60. “A new approach to the theory of self” *International Congress of Humanistic Psychology*. (1972)
61. 『自己の心理学』(社会思想社、1973)
62. 『自己探究と人間回復』(大日本図書、1973)
63. 『深層の自己探求』(大日本図書、1973)
64. 『青年カウンセリング』(大日本図書、1973)
65. 「人間回復の集団活動とその理念—Tグループを中心に」『産業訓練』19-5 (1973)
66. 「家政学と人間科学の接点」『立正女子大学紀要』9 (1975)
67. 「生命体験と自己実現」『セルフエイジ』9 (1975)
68. 「臨床的面接法における面接者の要件と訓練」 続有恒、村上英治編『心理学研究法11』(東大出版、1975)
69. 「人間学的方法論の明確化」『相談学研究』9-1、2 (1976)
70. 「自我の解放と確立」『月刊生徒指導』6-2 (1976)
71. 『人間科学入門』(編著)(有斐閣、1976)
72. 『人間学』(有斐閣双書、1977)
73. 『自己探究の心理学—非現実の現実』(社会思想社、1977)
74. 「神経症的非行」『教育と医学』25-7 (1977)
75. 「非行少年の理解について」『育てる』108 (1977)
76. 「人間学的実践の原理」『教育展望』24-3 (1978)
77. 「実証的かつ実感的体験研究の方法」『文教大学紀要』12 (1978)
78. 「自己実現の人間科学」現代のエスプリ別冊 (1978)
79. 「嗜癖者に対する治療と指導」『教育と医学』26-2 (1978)
80. 『人間学の実践』(有斐閣双書、1979)
81. 「〈体験と意識〉研究の方法論」文教大学人間科学研究会編『体験と意識に関する総合研究』1 (1979)
82. 「簡素化された3つの投影法による自己深化の過程と方法—今後の臨床的研究の手引きを兼ねて」文教大学人間科学研究会編『体験と意識に関する総合研究』1 (1979)
83. 「人間科学方法論における統合的視点—理論と体験の媒体としてのイメージモデル」文教大学、『人間科学研究』1 (1979)
84. 「生命の核と自己実現—心理的、社会的から見た〈欲望〉の人間学」『日本及日本人』1556 (1979)
85. 「体験の認知的構造—感情体験の理論仮説を中心に」文教大学、『人間科学研究』2、3 (1980、1981)
86. 「図式的投影法を中心としたイメージ・体験研究のレビュー」文教大学人間科学研究会編『体験と意識に関する総合研究』2 (1980)
87. 「障害児の治療教育過程における臨床家の認知変化の研究—図式的投影法によるスタッフの認知を中心に」『安田生命社会事業団年報』16 (1980)
88. 「人間学と人間学的実践」『特別活動』13-4～9(日本文化科学社、1980)
89. 「個性尊重と共感的交わり」『特別活動』13-1

- (1980)
90. 『パーソナリティー』(有斐閣双書、1981)
 91. 「心理測定、診断、治療をかねた図式的投影法」『相談学研究』13-2 (1981)
 92. 「図式・イメージを中心とした体験と意識の総括」文教大学人間科学研究会編『体験と意識に関する総合研究』3 (1981)
 93. 「図式的投影法による総合研究」文教大学人間科学研究会編『体験と意識に関する総合研究』3 (1981)
 94. 「人間学的心理学とカウンセリング」『サイコロジー』(1981)
 95. 「健全育成のための〈人間学的〉教育」『教育経営研究』9-1 (1981)
 96. 「人間学の知見と教育」『教育展望』28-3 (1982)
 97. 「心と現実以前の原点」『日本及日本人』1566 (1982)
 98. 「東洋芸道による精神療法」徳田良仁他編『精神医療における芸術療法』(牧野出版、1982)
 99. 「イメージとは」『教育と医学』31-1 (1983)
 100. 「人間性心理学の方法と展望」『人間性心理学研究』(1983)
 101. 「非行臨床家のジレンマを正視する」『更生保護』34-7 (1983)
 102. “Basic relationship among intrapsychic, interpersonal and social conflicts, and their solution” 10th World Congress of Social Psychiatry. (1983)
 103. 「児童非行について—親子関係を中心」『子どもと家庭』21-7 (1984)
 104. 「生物心理的システムと社会的システムの対応」『大正大学カウンセリング研究所紀要』7 (1984)
 105. 「実験的に形成された共同自己の体験」文教大学『人間科学研究』6 (1984)
 106. 「人間と社会における自然性と人工性」文教大学『人間科学研究』6 (1984)
 107. 「〈非ユークリッド的〉自己理論」『人間性心理学研究』3 (1985)
 108. 「カウンセリングにおける診断と理解」『へるす出版』11-6 (1985)
 109. 「社会病理の臨床的理論」文教大学『人間科学研究』8 (1986)
 110. 「日本の社会病理現象 (1)~(3)」文教大学『生活科学研究』8~10 (1986~1988)
 111. 「カウンセリングと人間性心理学」『青年心理』(特集カウンセリング) 64 (1987)
 112. 「協調・連帯と自立・自己実現—教育における集団と個人」『教育展望』33-4 (1987)
 113. 「トランスパーソナル心理学について」『春秋』293 (1987)
 114. “An integrative theory of imagery related to typology” 3rd International Conference of Imagery: Keynote Address. (1988)
 115. 「イメージ療法の理論と技法」(心理療法 Q and A 現代のエスプリ)(至文堂、1988)
 116. 「カウンセリングの意味」NHK 学園 (1988)
 117. 「人間学的心理学」[本明寛編 講座・性格心理学 新講座 1](金子書房、1989)
 118. 「日本人間性心理学会」『教育心理』37-5 (1989)
 119. 『人間性心理学大系』全 10 巻(大日本図書、1985~1989)
 - 1 巻『人間性の探求』(1985)
 - 2 巻『カウンセリング』(1985)
 - 3 巻『イメージ・芸術療法』(1985)
 - 4 巻『教育と福祉』(1987)
 - 5 巻『自己と存在感』(1986)
 - 6 巻『意識の深層と超越』(1988)
 - 7 巻『臨床心理学』(1986)
 - 8 巻『非行・社会病理学』(1987)
 - 9 巻『イメージ心理学』(1988)
 - 10 巻『人間学への道』(1989)
 - 別巻 I 『愛と反抗の群像』(1991)
 - 別巻 II 『深層の世界』(1991)
 120. 『入間の可能性と限界—真の自己を求めて』[シリーズ人間性の心理学](大日本図書、1994)

上記の研究業績は、水島恵一先生がご退職の折に人間科学部紀要第 22 集に掲載された業績一覧の中から、単著書籍・論文のみを再掲したものである。